

部 局	豊中市伊丹市クリーンランド事務局	補 職	事務局長	氏 名	加嶋 隆
-----	------------------	-----	------	-----	------

1. 部局の使命

豊中市伊丹市クリーンランドは「森の中の再生工場」として、廃棄物の適正な処理と再資源化を通じて、循環型社会の構築と持続可能な社会の実現に貢献します。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取り組みの総括 方針取り組みの総括

方針	取り組みの総括
（１）ごみ焼却施設、リサイクルプラザの基盤施設について、市民に信頼され、快適な暮らしを支える施設として安全で安心な稼働・運営を行います。 （２）市民、ＮＰＯ、両市の環境部門など多様な主体と連携・協働のもと、より効果的な学習メニューの提供を通し、廃棄物の発生抑制・再利用と質の高いリサイクルの推進及び市民との交流を深めます。 （３）危機事態発生時に迅速かつ的確に対応できるよう実践力の向上をめざし、災害時対応マニュアル、事業継続計画等に則して大規模災害時の初期対応のための研修や災害を想定した実践訓練などを行います。	【今年度末に記載】

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	ごみ焼却施設の安定稼働と効率的な運営【重点】	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	(1) 施設の適切な運転管理と計画的な点検整備・維持補修に取り組みます。 ①日常点検の実施と施設の適正な維持・管理【随時】 ②計画的な補修工事の実施[拡充] * 1 号炉【4月14日～5月26日】 * 2 号炉【6月16日～7月28日】 * 3 号炉【9月22日～11月3日】 ③上記工事期間中の適正なごみ処理の継続【②と同期間】 ④トラブル時の迅速な対応【目標：焼却炉停止ゼロ】 ⑤施設内（高所天井）L E D照明機器への更新[新規]【随時】		
	(2) ごみ焼却時に発生する熱エネルギーの電力への再生に取り組みます。 ①高効率な発電機能の維持 【目標：発電効率20%以上、売電収入8億円以上】 ②電力の地産地消の推進 * 両市小学校等公共施設への供給（非F I T電力）【通年】 * F I T電力の供給の開始[新規]【通年】		
	(3) ごみ処理過程で発生する有害物質等の抑制に取り組みます。 ①公害防止設備の日常点検・整備の実施【随時】 ②的確な管理薬剤投入等による発生物の抑制【随時】 ③モニタリングの実施と測定結果の公開【随時】		
総合計画			
3-2- (2)	循環型社会の実現に向けた取組みを進めます		
基本政策			
34	ゼロカーボンシティの実現		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	リサイクルプラザの安定稼働と効率的な運営【重点】 （１）施設の適切な運転管理と定期的な点検整備・維持補修に取り組みます。 ①日常点検の実施と施設の適正な維持・管理（委託事業者による）【随時】 ②委託事業者との連絡調整会議の開催【月1回】 ③委託事業者を通じた施設の運営状況の把握と課題への対応【随時】 ④トラブル時の迅速な対応 【目標：発火事案による機器停止時間100時間／年以内】 （２）品目ごとの搬入物の実態に応じた、効率的で高品質な再資源化を進めます。 ①ペットボトルの水平リサイクルの推進 【目標：搬出予定量約350 t／年】 ※R 6 実績量（121 t／年）	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	総合計画		
	3-2- (2) 循環型社会の実現に向けた取組みを進めます		
基本政策			
	34 ゼロカーボンシティの実現		

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	環境学習の推進と市民との交流の場の創出【重点】	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	(1) 施設の見学機能を活用した学習の拠点として、市民・事業者への環境学習・啓発に取り組みます。 ①施設見学の受入れ【随時】 ②リユース品の提供【随時】 ③出前講座の実施【随時】 ④市民講座、環境フォーラムの開催【月6回、年1回(3月)】 ⑤環境学習ガイドブックの作成(改訂)【3月】 ⑥委託団体との連絡調整会議の開催【月1回】 ⑦モニタリングを通じた運営状況の把握と課題への対応【随時】 ⑧施設見学機能の見直し、デジタル化の検討[新規]		
	(2) 市民に開かれた施設として、折々に移ろう緑の中、市民が集い交流する場を創出します。 ①クリーンランドひろばを活用した市民との交流イベントの開催【適宜】 ②「ジョイントひろば」の開催【5月・10月】 ③クリーンランド展望フロア一般開放デーの開催【月1回】 ④上記開放デーに合わせたイベントの開催【適宜】 ⑤敷地内緑化の適正な維持管理(緑化推進による良好な環境保全)【通年】		
総合計画			
3-2-	(2) 循環型社会の実現に向けた取組みを進めます		
基本政策			
34	ゼロカーボンシティの実現		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	危機事態への実践力の向上	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	(1) 危機事態発生時に迅速かつ的確に対応できる職員の実践力向上に取り組めます。		
	①「危機管理対策推進チーム」を中心とした人員体制の整備		
	②浸水防止止水板の設置研修【5月】		
	③地震を想定した防災訓練【9月】		
	④総合防災訓練【12月】		
	⑤災害時対応マニュアル、業務継続計画の点検と見直し【適宜】		
	⑥災害廃棄物の受入れ・処理対応の確認（訓練時に実施） 【9月・12月】		
総合計画			
	2-4- (1) 防災力の充実強化を図ります		
基本政策			
	26 強靱なまちづくりの推進		

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
5	人づくり・組織づくり	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	(1) 人づくりへの取組み ①「資格取得に係る人材育成計画」に基づく計画的な資格・免許の取得促進【適宜】 ②「技術検討部会」の開催【年2回】 ③職務面談等を通じた個々の職務目標に対する指導・助言【随時】 ④組織へのエンゲージメントの醸成 ・クリーンランドの使命や存在意義の共有【4月】 ・キャリア形成に向けた支援・助言【随時】 ⑤職員表彰の実施【年1回】		
	(2) 組織づくりへの取組み ①朝礼・夕礼での情報共有と課題の確認【毎日】 ②調整会議＜管理職会議＞での情報共有と課題の確認【月1回】 ③「技術検討部会」の活動を通じた技術・技能の継承と向上【通年】		
	(3) 働き方の見直しと働きやすい職場づくり ①事務改善、業務改善への不断の取組みの推進【随時】 ②ノー残業デーの徹底【週1回】 ③計画的な休暇取得の推進 【年次有給休暇（夏季休暇含む）の取得：年18日以上】 ④意見が言いやすい職場環境の醸成【通年】 ⑤職員の労働安全の確保 ・労働安全衛生委員会の開催【月1回】		
総合計画			
5-2-	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		
基本政策			
65	職員力を高める人材育成等の推進		

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
6	変革への取り組み	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	(1) 市民生活を支える基盤施設として設備・建物の老朽化に適切に対応し、施設の機能保全と長寿命化に取り組みます。 ①日常点検・整備の着実な実施と大規模補修工事の計画的な実施【随時】※再掲 ②培った技術・技能の継承と向上(職員による自主補修の実施) ・「技術検討部会」の活動【通年】※再掲 ③環境学習の拠点としての機能充実の見直し ・「課題検討PT」(各課課長補佐で構成)での検討【通年】		
	(2) 中長期の財政支出を踏まえた自律的・効果的な施設運営に取り組みます。 ①高効率な発電機能の維持【目標：発電効率20%以上】※再掲 ②売電収入の確保【目標：8億円以上】※再掲 ③有価物売却収入の確保【随時】		
総合計画			
5-2- (1)	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		
基本政策			
69	創る改革を推進するための環境づくり		

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
1	市民に信頼される基盤施設の安定稼働と効率的な運営 ○今後、両施設の老朽化への対応が課題となります。施設の機能保全と長寿命化をより意識した運営を行う必要があります。また、継続的な環境負荷低減への取組みとあわせて、財政負担も考慮した効率的・効果的な運営をめざします。		次の事項に継続して取り組みます。 * 計画的な施設維持・整備 * 自律的な施設運営（電力等売却収入の確保と補修工事費の低減等） * 人材育成（職員の安全確包含む） * 公害防止と環境負荷の低減（高効率発電の継続） * 危機管理体制の強化	
	総合計画			
	3-2- (2)	循環型社会の実現に向けた取組みを進めます		
	基本政策			
	34	ゼロカーボンシティの実現		
2	市民に愛され親しまれる学びや交流の場の創出 ○環境学習の拠点として十数年が経過し、時代の変化とともに、ライフスタイルや世代に応じた環境プログラムを提供する必要があります。また、使用済み小型家電のリサイクルなど、両市と連携し更なる市民への呼びかけと啓発が必要となっています。 多様な主体との連携・協働のもと、より効果的な学習メニューの提供を通し、ごみの発生抑制と再利用、質の高いリサイクルの推進に取り組みます。 ○市民生活を支える基盤施設として安定した稼働を行うとともに、市民に開かれた施設として、緑あふれる憩いと交流の場を提供します。		次の事項に継続して取り組みます。 * 両市との協働による啓発 * 環境学習の充実 * 緑あふれる憩いと交流の場づくり * クリーンランド展望フロアーの一般開放 * 焼却施設モニタリング測定結果の公開	
	総合計画			
	3-2- (2)	循環型社会の実現に向けた取組みを進めます		
	基本政策			
	34	ゼロカーボンシティの実現		